

# 平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防団機械器具置場建設事業			会計	款	項	目	大	小
				01	09	01	03	02	54
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防総務課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	須藤 恭成				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市消防団	意図	機械器具置場の計画的な建替えによる地域防災力の向上
事業内容	流山1丁目から4丁目を管轄する第2分団及び谷、桐ヶ谷、上貝塚、下花輪、大畔を管轄する第15分団の大規模改修工事（リフォーム）を行なう。			
事業開始から現在までの状況変化	建築年数30年を目安として、古い順に順次建替えを行っている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	工事の進捗率			100	%	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

防災施設を強化することにより、地域防災力が向上する。

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）  
 建築後30年を経過した器具置場は残り3個分団となった。

事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事務事業の総コスト(a=b+c)			22,406,058
事業費(b)(円)			20,346,558
うち一般財源			17,905,558
職員給与費(c)(円)			2,059,500
人役・職員(人)			0.30
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					
					コストの削減	A 削減の余地はない

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	防災拠点の強化。	③取組の課題	今年度は大規模改修工事（リフォーム）を実施したが、建替えも検討すべき。
②今年度(H28)に実施した取組	機械器具置場のスムーズな改修。	④今後の改善計画	建築年数が古い順に建替える。